

新社長ごあいさつ

Creativity & Growth 「創造と成長」



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成25年6月26日の定時株主総会後に開催された取締役会において取締役社長に就任いたしました平野 聡でございます。トプコングループの一層の発展を実現し、株主の皆様のご期待に添えるよう全力を尽くす所存でございますので、今後とも変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

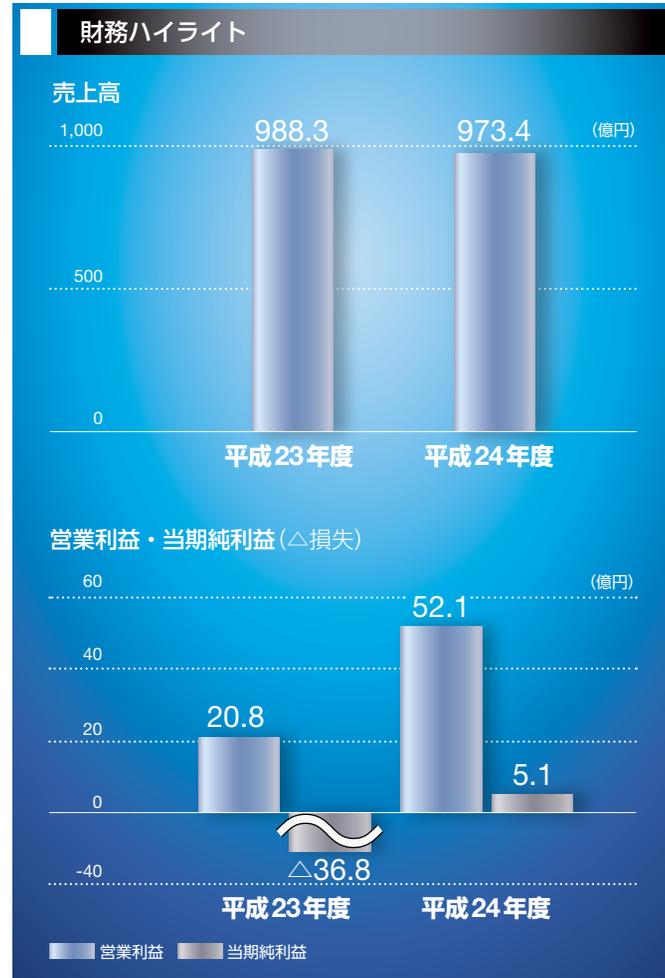
それでは、平成24年4月1日から平成25年3月31日に至る第120期事業年度の営業の概況をご報告申し上げます。

売上高は前年度と比べると米国での改善がありました。前年度に実施したファインテックビジネスの事業縮小による減少や欧州及び中国での市況の低迷等により973億4千5百万円(前年度比1.5%の減収)となりました。一方、利益面では、前年度に実施したファインテックビジネスの事業縮小や希望退職者の募集、その他継続的な事業構造改革への取り組みにより、固定費の削減及び原価低減を行ったこと等から、営業利益は52億1千4百万円(前年度比31億3千4百万円の増益)、経常利益は34億7千1百万円(前年度比30億4百万円の増益)となりま

した。また、当期純利益は、生産拠点の最適化を目的に実施した株式会社ソキア・トプコンの松田事業所移転費用及び中国子会社の拓普康(北京)科技发展有限公司での新社屋移転中止費用、並びに投資有価証券の評価損等を特別損失に計上したこと等により、5億1千1百万円(前年度比41億9千8百万円の増益)となりました。

平成25年6月

取締役社長 平野 聡



事業セグメント別概況

スマートインフラ・カンパニー

売上高	298億3千9百万円	主力商品であるトータルステーションのラインアップ充実化に加え、3D計測機器の販売に注力。当期は、日本が伸長したことに加え、原価低減や固定費削減等を行ったことにより収益改善。
営業利益	41億2千6百万円	

ポジショニング・カンパニー

売上高	378億2千4百万円	GPS技術・マシンコントロール技術などの新しい技術を融合し、高精度な3次元位置情報を活用して事業領域を拡大。当期は、欧州の市況低迷の影響を受けたものの、米国が堅調に推移したことにより増収増益。
営業利益	14億1千3百万円	

アイケア・カンパニー

売上高	310億7千3百万円	眼底イメージング装置、網膜レーザ装置、システムソリューションなど、先端技術による商品力を強化、予防医学から治療分野まで事業領域拡大。当期は、欧州の市況低迷、北米の製品認可ずれこみの影響を受けたことにより減収減益。
営業利益	15億6千3百万円	

株主メモ

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	108,085,842株(平成25年3月31日現在)
株主優待制度(年2回)	メガネセット(レンズ+フレーム)30%割引券(500株以上)(愛眼株式会社の全国各店舗で使用可能)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711(フリーダイヤル)

Q1: 社長就任にあたり、ご自身の経歴と、経営姿勢をお聞かせください。



私は学生時代に機械工学を専攻していたため、入社当初は測量機器技術開発部に配属され、トプコンで初めての土木用レーザーレベルの開発に携わりました。その後、開発した製品の販売推進を目的にオランダの販売会社であるTopcon Europe B.V.に3年間赴任し、そこで異文化の人々と交流する中でグローバル企業において最も重要な要素と考えるMutual Respect (相互尊重) を学びました。帰国して5年間を国内で過ごした後、米国のTopcon Laser Systems, Inc. (現Topcon Positioning Systems, Inc.) に赴任し、オランダで培ったMutual Respect (相互尊重) を信念にコミュニケーションを図りながら、上席副社長として同社の現社長であるRaymond O'Connorとともにユニークな商品創りをエンジンに新しい事業の開拓に努めました。

このような経験を積む機会を与えてくれたOBの方々には、非常に感謝しています。そして、この経験を活かし、メーカーの本質である「モノづくり」に注力し、市場競争力のある製品で事業基盤を築くとともに、経営資源をグローバル規模で最適化する「真のグローバル企業」を目指してまいります。

Q2: 今後の戦略についてお聞かせください。

これまでの原価低減、固定費の縮小、組織のスリム化により、為替への対応力は格段に強くなりました。また、2013年3月に実施した増資により財務基盤の強化が図られたことで将来の開発投資やM&Aを積極的に行う道筋もつきました。“Creativity & Growth” 「創造と成長」を2013年度からのスローガンに、他社よりも早く差異化技術の開発を行い、グローバルNo.1の技術をもって破壊的イノベーションを起こし、新規事業を開拓することで当社グループを成長させていきます。

具体的には、3カンパニーのうち、特にポジショニング・カンパニーの農業分野においてIT農業に対して最も大きな投資を行い、不足するコア技術や販売網についてはアライアンスやM&Aを積極的に活用することで、スピード感をもったビジネス展開を促進します。またスマートインフラ・カンパニーとアイケア・カンパニーにおいては、盤石な基盤領域を維持しつつも、今後はマーケットリーダーとして市場の価値を打ち破る創造性に富んだ新製品の開発を推進していきます。

これらの成長戦略を実現するため、それを担う人材をグローバルレベルで最適化することの必要性を理解し、国籍を問わず人材を採用・登用するとともに、適材適所での人



的資源の投入を推進して、各グループ社員が刺激・競争し合い切磋琢磨する企業風土を作り上げていきます。

Q3: 株主・投資家の皆様にメッセージをお願いします。

厳しい環境下のトプコンを支えていただきました株主の皆様には心より感謝申し上げます。経営改革から成長軌道へと移るステージでの社長就任となりましたが、引き続き株主ならびに投資家の皆様のご期待に応えられるよう、成長機会を確実に捉えながら一層の企業価値の向上を図ってまいります。利益還元につきましては、業績の伸長に応じて、配当水準を継続的に向上させていくことを基本方針としております。第120期は、中間配当を1株当たり2円(前期中間配当2円)、期末配当は1株当たり4円(前期期末配当2円)とし、合わせて年間6円(前期配当4円)とさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

トプコンは、最上位の価値観として制定した「TOPCON WAY」のもと、利益ある持続的成長をグループ一丸となって実現してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社トプコン

取締役社長

平野 聡